

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成28年 3月 4日

計画の名称	1 歴史的街なみ環境整備と安心・安全な住環境の整備（中津川市地域住宅計画）													
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）			交付対象	中津川市									
計画の目標	『歴史的な街なみの整備によりまちの魅力をアップするとともに、公営住宅等の整備事業により良好な住環境を整え「安心・安全で住みよく誰もが訪れたいくなるまちづくり」を実現する。』													
計画の成果目標（定量的指標）	・景観計画重点区域における修景整備件数を19件（H22）から50件（H26末）に増加 ・本町中山道地区における歩行者通行者数を357人／日（H22）から400人／日（H26末）に増加 ・公営住宅の住環境向上を行った戸数の割合を71％（H22）から75％（H26末）に増加（地域住宅計画）													
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考			
								当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
① 景観計画重点区域における建築物、建築設備、看板等の修景件数を調査する。 (目標とする修景整備の件数) = (修景整備済みの件数) + (計画する修景整備の件数)								19件	38件	50件				
② 中山道における歩行者通行者数を測定する。 (目標とする中山道歩行者通行者数) = (現在の中山道歩行者通行者数) + (計画する中山道歩行者通行者数)								357人／日	－	400人／日				
③ 市内の公営住宅のうち、各戸トイレが水洗化され、かつ、居室等に火災警報装置が設置された割合を調査する。 (公営住宅の改善割合) = (水洗化と火災警報装置が設置された公営住宅戸数) / (全公営住宅戸数) (%)								71%		75%				
全体事業費	合計 (A + B + C)	749百万円	A うちAc	638百万円 0百万円	B		Ac + C	111百万円	効果促進事業費の割合 (Ac + C) / (A + B + C)		14.8%			
事後評価（中間評価）														
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期														
事後評価（中間評価）の実施体制								事後評価（中間評価）の実施時期						
事業関係課及び商工観光部商業振興課にて実施								平成27年度						
								公表の方法						
								中津川市ホームページにて公表						
1. 交付対象事業の進捗状況														
交付対象事業														
A 基幹事業														
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
A1 地域住宅計画に基づく事業（基幹事業）														
1-A1-1	住宅	一般	中津川市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業	既存市営住宅の安全性確保・居住性向上・長寿命化型改善						96	
1-A1-2	住宅	一般	中津川市	直接	市	地域優良賃貸住宅整備事業	若者定住促進住宅の新築（6戸）						73	
Ac 地域住宅計画に基づく事業（提案事業）														
A2 基幹事業														
1-A2-1	住宅	一般	中津川市	直／間	市／個人	街なみ環境整備事業	本町街なみ環境の整備・26ha						469	
合計											638			
B 関連社会資本整備事業														
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
合計														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考			

C 効果促進事業														
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	住宅	一般	中津川市	間接	個人	住宅等修景補助事業	建物等修景補助（本町外）						8	
1-C1-2	住宅	一般	中津川市	間接	団体	緑化活動等支援事業	植栽、花飾り活動等補助						6	
1-C1-3	住宅	一般	中津川市	直接	市	文化財標柱・説明板等整備事業	標柱、説明板の整備						3	
1-C1-4	住宅	一般	中津川市	直接	市	中山道古建築調査事業	建物等調査委託						1	
1-C1-6	住宅	一般	中津川市	直接	市	既設公営住宅等改修事業	既存市営住宅の安全性確保型改善						2	
1-C1-7	住宅	一般	中津川市	間接	産直組合	木造住宅普及啓発事業	モデル住宅展示補助						15	
1-C1-8	住宅	一般	中津川市	直接	市	危険住宅除却事業	公営住宅等の解体除却						39	
1-C1-9	住宅	一般	中津川市	直接	市	地域優良賃貸住宅関連施設整備事業	若者定住促進住宅の敷地造成						26	
1-C1-10	住宅	一般	中津川市	直接	市	電線引込施設設置事業	引込設備設置						1	
1-C1-11	住宅	一般	中津川市	直接	市	住宅リフォーム補助事業	リフォーム工事補助						10	
合計													111	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	本町(中津川宿)以外の市内2宿(馬籠宿、落合宿)を含む中山道沿道を、歴史ある街なみとして一体的に景観形成することができる。	
1-C1-2	建築物、工作物の修景と併せて実施することにより、緑による統一的な街なみ景観の演出が実現する。	
1-C1-3	案内板により来訪者が気軽に散策でき、説明板により歴史的背景を伝えることで、まちの魅力アップにつながり「誰もが訪れたいくなるまちづくり」を推進することができる。	
1-C1-4	中山道沿道の古建築物調査により、中山道の景観上のシンボルとなる建築物の保全を推進することができる。	
1-C1-6	市営単独住宅に火災警報装置を設置することで居住の安全性確保を図ることができる。	
1-C1-7	木材住宅の普及啓発の促進により、地場産業の活性化を図ることができる。	
1-C1-8	老朽化による危険住宅を除却することで、周辺住民の安全確保が図られる。	
1-C1-9	地域優良賃貸住宅と一体的に整備することで、若者の地域定住による地域の活力の向上が期待できる。	
1-C1-10	中山道沿道周辺の民家へ電線引込施設を設置し、電線の集約を行うことにより電柱の再配置を行い安全で快適な歩行空間の確保し、住みよく訪れたいくなるまちなみを形成する。	
1-C1-11	耐震改修工事と併せて行うリフォームに対する補助を行うことで、木造住宅の耐震改修を促進し、安心、安全な街づくりを推進する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・景観形成が進んだことにより、観光客、特に中山道の宿場町を歩く方が増加した。 ・公営住宅の改修が進められたことにより、雨漏りや漏水などに対する苦情が減少し、入居者の満足度があがった。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（景観計画重点区域内の修景件数）	最終目標値	50 件	目標値と実績値に差が出た要因	景観形成の取組の意識が高まったこと、また補助制度も景観協議会等地元住民により広く周知されたため、目標を大きく上回ることとなった。
		最終実績値	97 件		
	指標②（中山道における歩行者通行者数）	最終目標値	400人／日	目標値と実績値に差が出た要因	・完全閉店した店舗が1店舗、日曜日を閉店とした店舗が1店舗あること、また大型量販店へ顧客が流れたために買い物が減った。
		最終実績値	278人／日		
	指標③（公営住宅のトイレ水洗化及び火災警報器設置割合）	最終目標値	75%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画以上にトイレの水洗化を進められたため、目標比率を大きく上回ることとなった。
		最終実績値	85%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・景観計画重点区域内の住民の景観形成に対する意識が高くなった。			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・公営住宅については、計画どおり老朽化した住宅の改修や取り壊しを実施する。
- ・景観計画そのものや、修景補助制度を見直し、引き続き景観形成への取組みを行う。

